

刊夕 日五廿月三

# 常警日新聞

定額一圓金貳拾一ヶ月金拾陸郵税五圓  
廣告料五圓以上一頁一行金五拾陸  
日曜祭日の翌日休刊  
発行所 常警日新聞社  
〒六三〇 福島市本町三丁目三番地  
電話 六三〇  
印刷所 常警日新聞印刷株式会社



## 農村は救はれず

代議士 橋本虎次郎

### 四、農村の中産階級を正視せよ

然るにも拘らず政府の施設が此方面に對して甚だ薄いのには遺憾千萬な事である現に政府の災害匡救に關するやり方を見ても、大小に拘らず地主階級に對しては、災害地に於ける地租の免稅以外には何等の施設もないのである。土木事業の如き聊か間接の利益は認められようけれども、救済の意味を以て行はれる此事業に依つて、賃銀収入の恩恵に浴し得ないばかりでなく却て前も申し通り負擔増加の原因を作られてしまふのである。又地租の免除と云ふものは、一見有利のやうに考へられるけれども、是が爲めに生ずる村費の收入缺陷は、他の税目に依つて補充を餘儀なくされて中産地主が最も多くの割合で負擔せらるゝのである。小作者は早害又は冷害等に依つて、納米を免せられようが、地主は収入減の他に灌漑其の他の諸経費を負擔して居る。中産地主が斯様にして年々負擔を増加する

には到底免れないのである。一部の人が、地方の地主階級の方々は、冠婚葬祭に多額の金品を浪費するから負擔が高まるのであると云ふのは、一時歐州大戦に因る所の「インフレーション」景氣の時代に起つた僅の例であつて、今日は左様な事は見られぬ事も出来ない。僅か二十圓か三十圓の費用を以て婚禮を行ふ申合をして、之を勵行して居る農村の事實を正視せなければならぬ。更らに中産地主階級の人々は、多少餘裕ある者は郵便貯金などして居る、而して是れ等の郵便貯金の利子は非常に引下つた。然るに却て都下の大資本家、銀行或は保險會社などが大部分を所有する公債の利子が依然として四分五厘五毛と云ふ

全國の青年團は約一萬六千、青年團は約一萬四千、團員は百六十萬人に達してゐる。

ふ高率を保つて居ると云ふのは、色々財政經濟上の理論はあつたが、農村の人々から見れば、誠に片手落ちであると考へられるのである。而も地方の金融界の大混亂に當りては、或は産業組合

の前の支出を吝んだが爲めに、赤字に赤字を重ねることとは、殷鑑遠からず、過去數年間の我國に於ける實績を見ても明なることだらうと思ふのである。況んや海外の事例等に徴したならば是等の事は自明の理であると考へる。平時の財政の理論を固執して、赤字を漸減

しなければならぬと云ふや、事は私は沙汰の限りであつて、將來の赤字を増しこそすれ、此活動する國民に活動力を與へる爲めに、國費を支出すると云ふことを阻んだならば、將來共に赤字の増加と云ふものは免れないのではないかと考へて居るのである。

【晝】焼豆腐、か、煮、小付、奈良漬  
【晚】お刺身、まぐろ、ひらめ、ステーキ、牛、人蔘

所の過去に於ける救済施設の實績に較べると云ふと電泥膏壤の差があると吾々は考へ、地方民は之を非常に遺憾なることに思ふのである。斯様な事では幾ら口に舉國一致などをとなへられ

可能性がないだらうと私共は考へて居る。固より收支の均衡と云ふものは、財政上に於いて最も重要な事であるから、是は考慮しなければならぬ、併しながらそれは平時のことである。今日のやうな赤字公債を發行するの己むを得ない時は將來に更に大きな赤字公債を發行しなければならぬやうな時機の來らざるやうに用意をしなければならぬと思ふのである。今日の目

【朝】味噌汁、ねぎ、小付、佃煮  
【晝】焼豆腐、か、煮、小付、奈良漬  
【晚】お刺身、まぐろ、ひらめ、ステーキ、牛、人蔘

おひな人形 大賣出し  
本年の新型人形 セツト物各種 小道具類一式 豊富に取揃へました 是非御一覽下さい  
平二丁目 フクダヤ祝品部

## 丹野外科醫院

丹野淳夫  
平驛前 電話三八五番

## 東北商行

福島縣平町 仲田町七二番地 電話六五三番

## ランドセル

全部玉付の石板が樂に入ります。  
大型.....0.95錢  
學修院型.....1.5)  
// // .....2.00  
// // .....3.00  
// // .....5.50  
セピアと黒各種  
カバンとポーシ  
手提カバン  
補助運動靴景品付賣出中。  
ツルヤ  
平四・電一四〇

## 本根眼鏡

正確な眼鏡は...當店へ  
景品付新發賣開始  
パイロット高級萬年筆  
即時御名入彫刻無料

## 胃腸科 専門

内科 皮膚科 性病科 花柳病科  
胃腸病科  
院醫科性病胃腸村松  
(番七〇一電町南町平)

## 丹野外科醫院

丹野淳夫  
平驛前 電話三八五番

### 月曜是非

### 表彰と平消防組

平消防組が縣下に魁けし、全国的な模範消防組の名を以つて、来る廿八日大日本消防協會から表彰を受ける事は、郷土の誇りと感ずる吾人の喜ぶ處である。

組頭井上茂作氏は消防組の熱心家として全國にその名を知らるゝ人、此の名組頭の統率下に在る平消防組が斷然頭角を現はして全國屈指に數へらるゝは、名實兼備の成功を博したものと云ふべきである。

此際同消防組に、吾人の望む處は、今回の光榮を擔つて「我事成れり」の一安心の境地に入れるものとの解釋を爲すべきに非ざる事である。即ち益々自重して眞に模範組の名を恥かしめざる用意と覺悟を此際充分に固め、その眞價を發揚して世に問ふ處がなければならぬ。

たゞ世には公家の位例れといふ事がある、輝かした名聲を、保持する爲めに人知れぬ苦勞に身を疲さねばならぬ場合が多い。其際一にも金、二にも金で、是れが爲めに町民の負擔が過重なる様な事があつては、折角の表彰をして町民に迷惑を感じせしめないものでもない。

現在の消防關係の町豫算が他地に比較して決して尠くない事に鑑みても此上に財源難の平町に苦惱を感ぜしむが如き事態を醸さざる様、吾人は平消防組幹部の誠意を信頼し、特に此点の留意を強調あり度しと希望して止まぬ次第である。

## 平庶民金庫の理事及び監事決定

### 新總代が慎重に人選

信用組合平庶民金庫の實際業務擔當者である理事及び監事の任期が満了するので先般改選された新總代廿一名は昨廿四日午後二時から同金庫樓上に參集初顔合せの總會に於て是れを選任した、庶民金庫は現在平町の金融中心機關として多大の便宜を興へて居る折柄であり此の

運用如何は直ちに中小商工業者の運命を支配する絶大な力を握つて居る事として理事及び監事の人選は至極慎重を極め其間多少の經緯あつたが結局現理事の

- 諸橋 久太郎
- 青沼 鋒太郎
- 野崎 滿藏
- 關内 正一
- 鈴木 重助
- 坂本 隆藏
- 藤田 榮助

の三氏を留任と決定し、星野清吉氏没後の空位及び山崎與三郎、柏原幸次郎兩氏の病氣辭職に依る理事の欠員を補充する事となり満場一致を以つて

- 猪狩 庄平
- 山崎 清三

### お美味しい小壽鶏

諸橋 敬一郎 京不在中の山崎氏が歸平するを待つて相談の上決意すべく旨にて就任の回答を保留したが周囲の情勢が兩氏の就任を望むや切なるものある点より察知し多分可能性ありと見られて居る

繁殖中の狩獵を禁止

既報本郡永戸箕輪兩村に試験的に放養されて居る小壽鶏の味は雉よりも美味なもので一般狩獵家からこの上もない好獲物とされて居るが右の小壽鶏は目下繁殖を圖つて居る際で平署は近頃狩獵家に捕獲禁止の注意を發すると因に小壽鶏は一見ウ

### 締め出しは半数以上

#### 今更乍ら校舍狹溢の嘆

#### 受験難の平商

廿三日の最後の願書受付で二百四十四に達した平商業學校は比率に於て塾中婦女を遙に凌駕し百人中五十五人はどうでも落伍させねばならぬ割合なので今更ながら校舍の狹溢を残念がつて

### 匡救工事

入遠野の陳情 入遠野村は去る七年度から毎年匡救工事を割當られ同

### 軍艦の觀覽自由

#### 海軍思想普及の爲め

#### 軍樂隊や映畫も

既報六月十五日小名濱港に入港する巡洋艦那珂は今年も一般の觀覽及び便乗を許可する外申請次第講演、軍樂隊、映畫等各町村の依頼に應じて派遣し海軍思想の普及を圖ると因に軍艦便乗者の資格は左の如くである

- 代議士 縣市町村會議員
- 在郷軍人 軍人及家族
- 新聞雜誌記者 青訓生
- 軍事扶助團體 少年團幹部
- 海軍協會員 海軍有終會員 海軍功勞者

### 悪水豫防

#### けふ協議會

既報平町外二ヶ村惡水豫防組合は本月廿九日午前十時

- 一、九年度事業繰越の件
- 一、九年度歳入追加更生豫算の件
- 一、十年年度追加豫算の件
- 一、寄附採納の件
- 一、教員退職慰勞金給與の件

#### 平町會の議案

既報 来る廿九日午後一時から町會議事堂に開かれる平町會の案件左記の如くである

- △材木町野木季雄氏五女榮子
- 出 生
- 死 亡
- △紺屋町當時郡山市北町六二 山村留儀(四ツ)さん
- △長橋町四二 寒風澤庄三(三ツ)さん

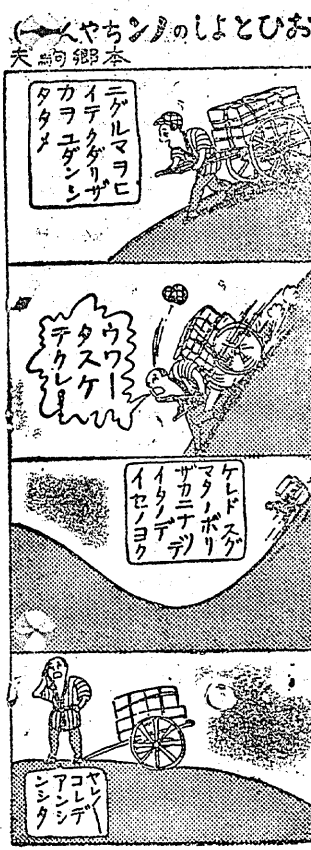
### シネマ週報

- ◎世界館 松竹現代劇阿部正三郎、三井季男、小櫻葉子主演「娘三人感激時代」
- ◎松竹時代劇坂東橋之助、網川京子主演「春姿だんだら染」松竹時代劇林長二郎主演「俠客春雨傘」
- ◎平 館 日活時代劇澤村國太郎主演「武士仁義」日活時代劇市川正二郎、大倉キヨ主演「捕物五月雨格子」日活現代劇サウンド版水久保澄子、近松里子主演「藝者三代記」

### 平町人事

- △材木町野木季雄氏五女榮子
- 出 生
- 死 亡
- △紺屋町當時郡山市北町六二 山村留儀(四ツ)さん
- △長橋町四二 寒風澤庄三(三ツ)さん

竣工道路 昨日三ヶ所 平土木監督所管内匡救道路工事のうち磐崎村藤原地内村道改修(工費千八百圓と



印刷の御用は 設備完全の 『常磐毎日』へ 電話六三〇

# 名物空ツ風

## 凄く吹き出す

観櫻季節も眼の前に迫つた本廿五日朝から平地方は名物の空ツ風が吹き初めた。最初は風速十二三米が漸次力を強めて午前十時頃には十四米となり暴風化しガラス戸看板、板塀、ラデオアンテナ等の吹き倒される被害が

## 判明した被害の數々

### 貯炭場崩壊

今朝九時頃内郷村磐城炭礦綴坑貯炭場三十坪が崩壊

### 屋根が...

### 吹き飛ぶ

同村綴字一の坪五三永井源治方住家一棟が今朝十時頃烈風に屋根吹き飛ばされ人畜に死傷なし

### 煙突倒れ

### 危く失火

けふ十時内郷村小島字新町

## 風に爐火が煽られ

## 危く大火の二の舞

村民總掛りて必死の消火

### 今朝大浦の火事

今朝七時頃大浦村字狐塚農山野邊松次方隠居より發火

したが先般の大火に脅へた村民は總がかりて強風中を

消火に必死より隠居一棟を全焼したのみで延焼を防ぎ同八時鎮火したが損害百圓、原因は爐火が強風の爲め傍に積んで置いた焚木の松葉に燃え移つた爲めである

### 大工道具で

### 斬り付く

人絹の運轉手 錦村の昭和八人絹會社自働車運轉手東京市赤坂區生れ平林文雄(三)は去る廿二日勿來驛前料理店あづま屋方で仲間篠原竹太郎(三)と飲

### 盗んだ自轉車で

### 二百圓儲けたと

豪語する前科二犯の男 昨日平署に捕る

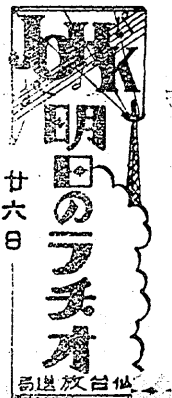
双葉郡浪江町字權現堂生れ住所不定窃盜前科二犯鈴木壽(三)は去る廿三日夜平町田町敷そば方の自轉車一臺を窃取して昨廿四日午後四

### 片倉製糸が

### 提燈行列

稻荷神社を遷座して 従業員の唱歌會

日本中央蠶糸會にては今回一般國民の織物使用上の經濟的觀念を認識徹底せしめ關係者の業務改善發達に資するため毎年三月廿八日を蠶糸祭と定め全國一齊に祭典を行ふ事となつたが平町片倉製糸株式會社にては左記順序により同日午前



今夜も明日も北西の曇後天氣良くなる

今晚の部 後八、〇〇(子供の時間) 出演 やま吉奴外十五名 後八、三〇 ジャズ 獨唱付コロナオーケストラ 獨唱 二村 定一 後八、五〇 浪花節「乃木將軍と辻占賣り」 天中軒 雲月 後九、三〇 時報 ニュー

### 格納庫前に珍客

大風に襲はれた傳書鳩 今廿五日午前八時頃平第一小學校渡邊導が烈風の中を校舎内外巡視中格納庫前の校庭に銀鼠色の可憐な傳書鳩が落下してのを發見したが道に人に馴れておとなしく諸先生もこの珍客の接待に豆よ水よと大騒ぎである兩足にはアルミニウム製の管がついてをり左には鳩協人(三)右には千葉市川國府臺大里との刻印あり多分千葉より仙臺方面へ向け飛揚中猛烈な風に襲はれ不時着したものらしく學校ではその旨平署へ届出ると共に前記千葉市川市宛通知した

明日の部 前七、〇〇 基礎獨語講座 前七、三〇 朝の修養「降魔表五魔軍の聴探」 加藤 咄堂 前八、〇〇 婦人講座「春から夏への洋裁」(一) 土屋 許子 後八、〇〇 獨唱と管絃樂 獨唱 小林 千代子 日本放送交響樂團 後九、〇〇 母の時間「子供の發音と姿勢に就て」 大西 永次郎

氣象通報 今夜も明日も北西の曇後天氣良くなる

後六、〇〇(子供の時間) 齊唱と合唱 J.O.A.K.唱歌隊 後七、三〇 講演「今議會を通過せる法案に就て」 樋貝 詮三 後八、〇〇 地唄「青柳」 中橋 曉夢 後八、二〇 歌謡曲唄小花 後八、四〇 清元「道行旅路の花舞落人」 清元延千嘉 後九、〇五 連續ラヂオ小説「恩讐の彼方へ」(一) 梅 島 昇

ラヂオの無料診査 仙臺中局 中央放送の四月中部下ラヂオ機械の無料診査日割は左の如くである (七八日)平町東部電力營業所(九日)内郷同散宿所(十日)湯本同散宿所(十一日)小名濱二本松電氣支店

平職業紹介所報告 回人を求める方 △農夫 二十前後 尋卒 月十圓 △配達 十八才 尋卒 三四十圓 △洗濯見習 二十以下 尋卒 給料面談 回職を求める方 △女中 十九才 高卒 △農夫 二十七才 尋卒 △土工夫 三十二才 尋卒 △セメント職工 三十才 電機校卒

放火犯に懲役三年 白水検事求刑 出稼の旅費を得るため放火した湯本町大字水野谷字龜屋無職志尾崎猛(三)に係る公判は去る二十三日午前十一時四十分平支部に於て中島裁判長係り小林、香西兩判事陪席、白水検事立會、安齋辯護士列席、被告は犯

優良賞與 平青年訓練所にては昨廿四日今年度修卒業式を行つたが左記成績優秀及び精勤者に夫々賞與した (教育部會賞) 佐藤政雄

平靑訓の優良賞與 七時から盛大な式典を舉行すると 前夜二十七日午後六時、片倉稻荷神社遷座祭、同七時より同所員の提燈行列煙花打揚げ二十八日式典後午後一時より講堂にて従業員唱歌會



# 明治太平記

(上巻及上巻)

(作) 寺島征史  
(監) 野口

第八十三回

征韓是非 (一)

裏長屋の八さん熊さんの征韓論と、政府當路の征韓論者の意見の内容と、五十歩百歩のところに、征韓論の切實さがあるといふ風に善意に解釋するものもあつた。

——いまが潮時だ、朝鮮を取つてしまへ。

だけでは、その征韓論は、不拂手形のやうに、あとで殿しい文句のくる代物だ。何とか征韓論の内容を充實してかゝらねばならん……といふのが論者たちの肚だつた。

だが、元來、日本人は感情と概念だけを結合してつて、思想の無い國民だ。やつてしまへ——といふ啖呵は切れるが、何故にやらねばならぬか……の理論がとうてい纏まらぬ頭の所有者だ。

征韓論者の元祖をもつて、自ら任じてをる久留米藩士出身の佐田白茅は、元祖の手前なんかして、この理論を取纏めねばならぬとおもつて、熟考熟慮した。また多くの日本人がさ

あるやうに、佐田の頭の中もすい分空つぽだつた。ことに、時局を憂へて諫死した横山正太郎の例の建白書に「口に一新をとへて、一新の實の未だ揚らざる今日外國に兵を構へるなど以てのほかの暴論である」

があるか。しかし、この功利觀念に走る前に佐田はやはり熱情家でありがちな感情論がもち上げる。

——壬辰の役以來、朝鮮は日本の陛下にひれ伏して毎年二期の朝貢を缺かしたことがない。然るに、明治新政府が成立して以來、朝鮮政府はこの禮を怠るに至つた。わが政府は改めて朝貢の禮は相變らず盡すやうにと通告を發した。これに對して朝鮮政府は、無禮にも國書を返還して來た。朝鮮の大院君は支那の威を着て、かく暴戻なる態度に出



征韓論元祖 佐田白茅

とあつて、佐田の征韓論が小つびどくやつつけられたので、これ以來、佐田は一層切實に論旨の内容を整へてかゝらねばならぬとおもつた。

——朝鮮を何の爲に取るか朝鮮を取るとどんな利益

をる。幕末のころ、久留米の藩論が佐幕勤王兩論にわかれてをつたとさ眞木和泉守と共に、倒幕論をもつて飛躍した、めに捕へられて投獄されたほどの男、維新の險には軍務盤知事とまでなつたが持つて生れた直情が禍じ、誰彼の容捨なく議論を吹きかけ、自説を固持してやまぬところから、人に容れられず、不遇な境遇にをかれてゐる。したがつてはやくからせいかん論をとへたのはひとつには人氣の挽回策でもあり、また新政府に對する反視からでもあつた。

毎度有難うございます  
エビフライ  
ピフテキ

洋食  
喫茶  
宴会

女給數名募集  
コンパル  
平塚前新道通り  
TEL.666

新學期  
通學服賣出

男兒用  
紺サージ金釦服...3.60  
黒小倉服...1.60  
女兒用  
紺セルセラ服...2.60  
特製黒小倉服...3.60

お嬢ちゃんお坊ちゃん  
方の可愛らしい通學服  
な豊富に取揃へ特賣提  
供

ふかや洋服店 平三 208  
電 208

米國製刺皮膚病良藥  
レメドール  
子宮あたゝめぐすり  
宮温湯  
丹波博士創製セキドメ

たんぼあめ  
靈藥ムテキ

阿康藥舗  
平町古銀治町〇一  
縣社ノ下 電話四四番

外科 内臓外科  
レントゲン線

病室完備  
學醫博士 諸橋鐵彌  
◎新川町二七 (電四六四)

新入學生靴

中學生編上靴 ¥4.30  
女學生用靴 ¥4.00  
中學生用(注文) ¥6.00  
女學生用(注文) ¥5.00  
他紳士型、青訓用等豊富に取揃へてあります

菊地靴靴店  
平四・電六五九

株式賣買債權取立  
合資 三共商事  
大町 電話三六〇番